

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2026年5月25日（第1.0版）

承認番号	26008
課題名	救命救急センターにおける早期離床プログラムの再構築 看護診断を活用した看護師主体のリハビリテーションへの取り組みと課題-
研究期間	西暦 2026 年 5 月 25 日（実施許可日） ～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	・2025年度に救命救急センターに入院している救急科管理の患者さん
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：入院患者数、入院となった疾患と既往、年齢、入院滞在日数、入院時・退院時の日常生活動作（Activities of Daily Living:ADL）、リハビリテーションに関する看護記録の記載内容、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が行ったリハビリテーションの内容、リハビリテーションの実施回数、リハビリテーションが中止となった件数と理由、ICU Mobility Scale（IMS）） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
利用予定日	開始日：実施許可日から一か月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	アンケート結果や既存の看護記録から、早期リハビリテーションに関する取り組みの効果を明らかにするとともに、今後の課題を検討することを目的としています。この研究で得られた知見により、早期からリハビリテーションを継続することは、救急領域における患者さんの ADL 低下を防ぎ、退院後の QOL（Quality of Life：生活の質）に大きな影響を及ぼす可能性があります。
研究の方法	看護師を対象とした早期離床プログラムに関するアンケート（無記名式）を取り組みの前後で行います。その結果は前後比較し、看護師のリハビリテーションに対する意識の変化を調査します。また、リハビリテーションに関する看護計画が立案されているか、実際に患者さんにリハビリテーションが実施されているかについても調査し、今後の課題について考察します。
その他	関連学会にて報告する可能性があります。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

	研究責任者 廣田郁代 旭川医科大学病院 救命救急センター 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 連絡先：0166-69-3715 内線 3715
--	--